

1 1年A組の女子の50m走の度数分布表を使って、平均値を求めましょう。

(1) 資料全体の特徴を代表する、たとえば平均

値のような数値を という。

(2) 階級の中央の値を という。

(3) 平均値 = $164.25 \div$

= (秒)

時間 (秒)	階級値	度数	(階級値) × (度数)
以上 未満			
7.0 ~ 7.5	7.25	1	$7.25 \times 1 = 7.25$
7.5 ~ 8.0	7.75	2	$7.75 \times 2 = 15.50$
8.0 ~ 8.5	8.25	4	$8.25 \times 4 = 33.00$
8.5 ~ 9.0	8.75	6	$8.75 \times 6 = 52.50$
9.0 ~ 9.5	9.25	5	$9.25 \times 5 = 46.25$
9.5 ~ 10.0	9.75	1	$9.75 \times 1 = 9.75$
計		19	164.25

(4) 資料のちらばりの程度を表すのに、資料のなかの最大の値と最小の値との差を使うことがある。この差を何といいますか。

2 1年A組の男子の50m走の度数分布表を使って、平均値を小数第2位を四捨五入して求めましょう。

(1) 表の各階級の階級値を書きなさい。

(2) 表の各階級について、(階級値) × (度数) を計算し、和を求めなさい。

(3) 平均値 = ÷ 19

= (秒)

時間 (秒)	階級値	度数	(階級値) × (度数)
以上 未満			
6.5 ~ 7.0		1	
7.0 ~ 7.5		3	
7.5 ~ 8.0		7	
8.0 ~ 8.5		5	
8.5 ~ 9.0		2	
9.0 ~ 9.5		1	
計		19	

組

番

名前

かかった時間

正解数

分

- 1** (1) 代表値 (2) 階級値
 (3) 19, 8.6 (4) 範囲

- 2** (1) 右の表
 (2) 右の表
 (3) $150.75 \div 19 = 7.9$ (秒)

時間 (秒)	階級値	度数	(階級値)×(度数)
以上 未満			
6.5 ~ 7.0	6.75	1	6.75×1= 6.75
7.0 ~ 7.5	7.25	3	7.25×3=21.75
7.5 ~ 8.0	7.75	7	7.75×7=54.25
8.0 ~ 8.5	8.25	5	8.25×5=41.25
8.5 ~ 9.0	8.75	2	8.75×2=17.50
9.0 ~ 9.5	9.25	1	9.25×1= 9.25
計		19	150.75

間違った問題を確認してみよう！

1 1年A組の女子の50m走の度数分布表を使って、平均値を求めましょう。

- (1) 資料全体の特徴を代表する、たとえば平均

値のような数値を という。

- (2) 階級の中央の値を という。

- (3) 平均値 = $164.25 \div$

= (秒)

時間 (秒)	階級値	度数	(階級値)×(度数)
以上 未満			
7.0 ~ 7.5	7.25	1	7.25×1= 7.25
7.5 ~ 8.0	7.75	2	7.75×2=15.50
8.0 ~ 8.5	8.25	4	8.25×4=33.00
8.5 ~ 9.0	8.75	6	8.75×6=52.50
9.0 ~ 9.5	9.25	5	9.25×5=46.25
9.5 ~ 10.0	9.75	1	9.75×1= 9.75
計		19	164.25

- (4) 資料のちらばりの程度を表すのに、資料のなかの最大の値と最小の値との差を使うことがある。この差を何といいますか。

2 1年A組の男子の50m走の度数分布表を使って、平均値を小数第2位を四捨五入して求めましょう。

- (1) 表の各階級の階級値を書きなさい。

- (2) 表の各階級について、(階級値)×(度数)を計算し、和を求めなさい。

- (3) 平均値 = ÷ 19

= (秒)

時間 (秒)	階級値	度数	(階級値)×(度数)
以上 未満			
6.5 ~ 7.0		1	
7.0 ~ 7.5		3	
7.5 ~ 8.0		7	
8.0 ~ 8.5		5	
8.5 ~ 9.0		2	
9.0 ~ 9.5		1	
計		19	